



山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2017年10月25日 発行

平成29年第42週(10月16日～10月22日)

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~42週
	第41週	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	862 0.17	1 0.02		▽							1 0.10		▽				11419
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	4603 1.46	63 2.10	44 1.47	▼	35 2.69	20 1.54	▼	3 1.00	1 0.33	▽	14 2.33	11 1.83	▼	11 1.38	12 1.50	△	1590
咽頭結膜熱	1232 0.39	27 0.90	59 1.97	△	23 1.77	47 ◎3.62	△				2 0.33	8 1.33	△	2 0.25	4 0.50	▲	859
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	4542 1.44	95 3.17	131 4.37	△	39 3.00	58 4.46	△	2 0.67	2 0.67		43 7.17	52 ◎8.67	▲	11 1.38	19 2.38	△	5767
感染性胃腸炎	9022 2.86	49 1.63	57 1.90	△	16 1.23	24 1.85	△	1 0.33	5 1.67	△	17 2.83	19 3.17	▲	15 1.88	9 1.13	▽	5859
水痘	753 0.24	7 0.23	18 0.60	▲	3 0.23	11 0.85	▲				4 0.67	6 1.00	▲		1 0.13	△	502
手足口病	5889 1.86	74 ◎2.47	80 ◎2.67	△	17 1.31	9 0.69	▼	20 ◎6.67	29 ◎9.67	▲	14 ◎2.33	12 ◎2.00	▼	23 ◎2.88	30 ◎3.75	△	3276
伝染性紅斑	189 0.06	20 0.67	20 0.67		2 0.15	4 0.31	▲		1 0.33	△	18 ◎3.00	14 ◎2.33	▽		1 0.13	△	612
突発性発しん	1291 0.41	12 0.40	19 0.63	△	2 0.15	3 0.23	△	1 0.33	3 1.00	△	6 1.00	8 1.33	△	3 0.38	5 0.63	△	783
百日咳	25 0.01																24
ヘルパンギーナ	1132 0.36	12 0.40	9 0.30	▼	6 0.46	4 0.31	▼	1 0.33		▽	3 0.50	1 0.17	▼	2 0.25	4 0.50	△	1220
流行性耳下腺炎	945 0.30	5 0.17	3 0.10	▼				1 0.33	1 0.33		4 0.67	1 0.17	▽		1 0.13	△	547
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	4 0.01																
流行性角結膜炎	553 0.79	6 0.75	7 0.88	△	3 0.75	5 1.25	△					2 2.00	△	3 1.50		▽	149
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 0.00																78
クラミジア肺炎	2 0.00																
マイコプラズマ肺炎	166 0.35	7 0.70	4 0.40	▽	5 1.25	2 0.50	▽	1 1.00	2 2.00	▲				1 0.33		▽	183
細菌性髄膜炎	8 0.02	1 0.10		▽										1 0.33		▽	4
無菌性髄膜炎	13 0.03																8

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者			1		
	無症状病原体保有者		1		1	※内、第41週追加報告分1件。
腸管出血性大腸菌感染症	患者	2				型別:O145 VT2 1件、O157 VT2 1件。
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	患者	1				90日以内の海外渡航歴無し。
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	患者				1	※第41週追加報告分。

<通信欄>

※トピックスで、手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳		
インフルエンザ																
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計	
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計	
RSウイルス感染症	5	14	10	4	6	4					1				44	
咽頭結膜熱		2	15	9	16	8	1	6	1						1	59
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	10	7	15	25	14	15	10	9	21			2	131
感染性胃腸炎	2	7	7	5	7	8	3	3	3	3	1	5	2	1	57	
水痘		1			5	4	3	5							18	
手足口病		3	21	18	13	7	6	3	2	1	3	2		1	80	
伝染性紅斑					3	3	6	4	1	3					20	
突発性発しん		5	10	2	2										19	
百日咳																
ヘルパンギーナ	1		2	3	2	1									9	
流行性耳下腺炎							1	1	1						3	

<平成29年9月 月報>

2017年10月25日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～9月	
	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	24	14	9	6	10	4	1	2	4	2	164
	定点当り	2.40	1.40	2.25	1.50	10.00	4.00	0.50	1.00	1.33	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	5	7	2	2			1	2	2	3	56
	定点当り	0.50	0.70	0.50	0.50			0.50	1.00	0.67	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	4	2	2	1					2	1	16
	定点当り	0.40	0.20	0.50	0.25					0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数	3	1	1				1		2		31
	定点当り	0.30	0.10	0.25				0.50		0.67		
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	7	6	1		1			1	5	5	59
	定点当り	0.70	0.60	0.25		1.00			0.50	1.67	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	21	27	11	16	1	2		3	9	6	192
	定点当り	2.10	2.70	2.75	4.00	1.00	2.00		1.50	3.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

<トピックス>

【手足口病情報】

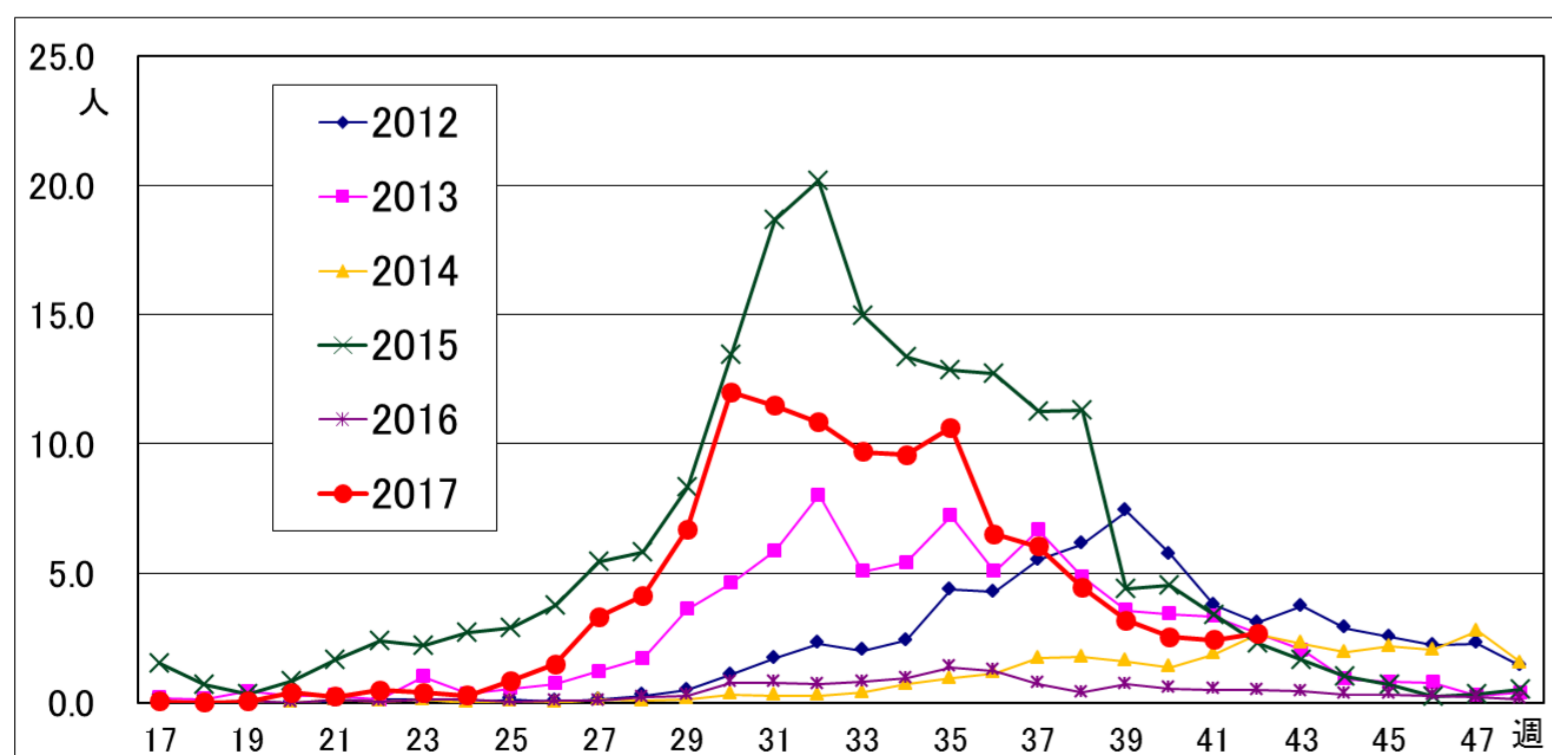
手足口病の定点あたり報告数が、最上地区、置賜地区、庄内地区で警報レベルとなっています。

・手足口病
警報開始基準値：5人 警報終息基準値：2人
・第42週 定点あたり報告数（山形県：2.7人）
村山地区 0.7人、最上地区 9.7人、置賜地区 2.0人、庄内地区 3.8人

1. ウイルス分離・検出状況：山形県衛生研究所(10月18日現在)

2017年に入って、山形県内の手足口病の患者から、コクサッキーウイルスA6が59件、コクサッキーウイルスA16が2件、エンテロ71が7件検出されています。

2. 流行期の定点あたり報告数の推移(山形県)



感染経路は、主として咽頭から排泄されるウイルスによる飛沫感染ですが、便中に排泄されたウイルスや、水疱内容物からも感染します。特に便中には長期にわたってウイルスが排泄されますので、手洗いをしっかりと、排泄物を適切に処理することが大切です。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎情報】

今週、A群溶血性レンサ球菌感染症の定点あたり報告数が、置賜地区で警報レベルを上回りました。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
警報開始基準値：8人 警報終息基準値：4人
・第42週定点あたり報告数(山形県：4.4人)
村山地区 4.5人、最上地区 0.7人、置賜地区 8.7人、庄内地区 2.4人

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症です。

【症状】2～5日の潜伏期の後、突然の発熱(38℃以上)、咽頭発赤、莓舌(写真1)などの症状が現れます。通常、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。治療は、抗菌剤が有効です。肺炎などの合併症を防ぐためにも、症状が改善しても医師に指示された期間、薬を飲むことが大切です。

【感染経路と予防法】この病気は、患者の咳やくしゃみ等のしぶきに触れること等で感染しますので、一般的な予防対策(手洗いや咳エチケット等)が大切です。また、咽頭通がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



写真1:典型的な莓舌
(国立感染症研究所ホームページより)